

きょうと シルバーだより

No. 86 爽秋号 令和4年9月



(写真：「藤袴と蝶」 堀場 英一会員撮影)

定期総会報告

KSRだより

地域紹介

（左京区）

ふれあいの小窓

事務局だより

緊急時の連絡先について

委員会報告

標語の募集結果

就業開拓員募集

人権の尊重について

自転車安全講習会

公益社団法人 京都市シルバー人材センター

定期総会報告

令和4年度定期総会については、感染防止対策を実施し、2年ぶりに、会員にご来場をいただき、5月30日（月）午後2時からロームシアター京都で開催することができました。

議事に先立ち、京都府・京都市からのご来賓による、知事・市長のご祝辞をいただき、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会、公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会から届いた祝電が披露されました。

その後、議長に北区の足立久会員が選出され、足立議長による議事運営のもと、下記の4つの議案について、議案説明・審議が行われた結果、4議案すべてが承認されました。続いて、令和4年度の事業計画及び収支予算が報告されました。

定期総会は事業運営の内容を決定する大切な場であるとともに、会員の意思表明の機会でもありますので、今後とも積極的な参加をお願いします。

議決事項

- ・議案第1号 令和3年度事業実績について
- ・議案第2号 令和3年度収支決算について
- ・議案第3号 役員の選任について
- ・議案第4号 理事長への権限委任について

報告事項

- ・報告第1号 令和4年度事業計画について
- ・報告第2号 令和4年度収支予算について



議案第3号で、新役員の承認が行われました。新役員、退任されました役員は次のとおりです。（五十音順）

○ 新任理事

岡本 哲也、阪本 一郎、武久 辰雄、本永 治彦、山村 敏雄

○ 新任監事

岡 克彦

○ 退任理事

有馬 透、北川 博巳、高橋 直樹、西垣 英子、松森 敏郎

○ 退任監事

絹村 円

退任されました役員の皆様には、当センター発展のためご尽力いただき、ありがとうございました。

定期総会に引き続き、令和4年度第2回理事会が開催され、理事長、副理事長及び専務理事の選定が行われました。

審議の結果、松本理事長・馬屋原副理事長は留任、新たな専務理事には山村当センター事務局長が選ばれました。

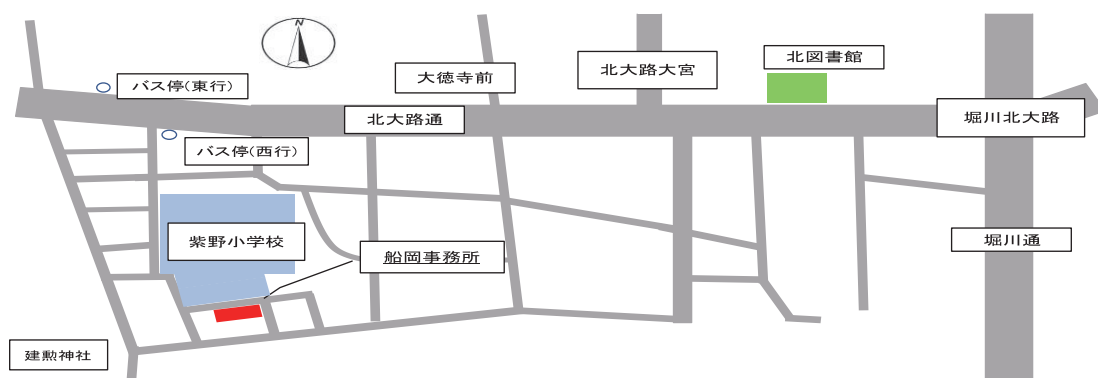
< 船岡事務所について >

前号の令和4年5月シルバーだよりで堀川今出川事務所の移転をお伝えしましたが、北部支部事務所内に紫明事務所を、元京都市楽只保育所船岡分園を船岡事務所として新たに開設しました。開所日の令和4年5月16日には船岡事務所で開所のセレモニーを開催しました。



新たに、開設された船岡事務所について紹介いたします。

場所は、紫野小学校の南側、最寄りのバス停は「建勲神社前」で、地図で示しているとおり、入り組んだところにありますが、バス停から5分ほどで到着します。



たどり着いたら、西側の正面に、ピンク色の門があり、2階建ての元乳児保育所をそのまま使用しています。

1階には作業スペースがあり、祇園祭で八坂神社から販売される「ちまき」づくりなど、和気あいあいとした雰囲気の中、会員数名の方々で行われています。

2階には、会員の事務所と会議室があり、会員事務所では会員数名の方々が、地域班の役割である「会員に必要な情報の提供」、「会員の意志の反映」及び「センター事業への協力」のために、会員の皆様へ送付する総会の資料、シルバーだより、就業情報などの事務作業、地域班との連絡調整及び就業活動相談会などに関する事務作業が行われています。

また、会議室は、地域班の地区長会や就業活動相談会など地域班を中心とした会員の会議に使用しています。

会員の皆様におかれましては、船岡事務所の役割にご理解、ご協力をお願いいたします。

～ 令和4年度 ～ KSR事業活動報告 ～

実施行事	実施日	実施場所・内容	参加人員
KSR 総会	・4月26日(火)	・北部支部2階会議室	66名
KSR 委嘱状伝達式	・4月26日(火)	・北部支部2階会議室	26名
健康講座	・第1回:6月7日(火)午前 ・第2回: " 午後 ・第3回:6月15日(水)午前 ・第4回: " 午後	『椅子に座ったままで下半身筋力とバランス能力に効く！セラバンドを使ったエクササイズプログラムの紹介』 ・北部支部2階会議室	81名 (合計4回)
ブロック長研修会	・6月23日(木)	・北部支部2階会議室	23名
掃除講習会	・第1回:7月12日(火)午前 ・第2回: " 午後	『身近な洗剤と道具でお掃除する方法』 ・北部支部2階会議室	41名 (合計2回)

～後期事業活動予定～

実施行事	実施予定日	実施場所・内容
掃除講習会	・9月7日(水)午前、午後(2回予定)	・北部支部2階会議室
料理講習会	・10月17日(月)、18日(火)、20日(木)、21日(金)(4回予定)	・ウイングス京都
中級研修会	・11月(4回予定)	・北部支部2階会議室
ブロック長研修会	・12月15日(木)	・北部支部2階会議室
ボランティア活動	・2月(予定)	・タオル寄贈

地域紹介

《 左京区地域班 》

左京区地域班A地区は左京区の南半分をカバーする地区で、下鴨・高野・田中・吉田・浄土寺・鹿ヶ谷・聖護院・岡崎の各地域を含み会員数は約200名の地区です。

この地区を14の班に分け12名の班長(2名は兼任)が担当して活動をしていますが、この2年間はコロナ禍もあって班長会議も開催できませんでした。その間に6つの班で班長の交代(2班は不在)があったのですが、新しい班長も含めて会議を開けたのがやっと6月の地区長会議の後というわけで、班長同士の交流もままならない状態が続いていました。

コロナ前は交流を深める取組として班長会議の後に会食をしたり、有志で洛陽三十三観音の御朱印集めをしましたが、これもコロナ禍で20ヶ所を集めたところで中断のやむなきに至っています。

コロナがこれからどう動いていくのか、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、新しい班長も迎えた今期、活動課題のひとつでもある会員同士の交流を深めるための取組を模索していくつもりです。

左京区A地区長：中川 敏之

《 K S R左京区月例会の紹介 》

左京区は市内でも範囲が広く、私は左京区といっても中京区と東山区の境界線あたりにおり、北の方は岩倉、修学院や市原、鞍馬の方まで会員がおられます。

現在会員は50名ほどで、毎月最初の日曜日に左京区役所の会議室をお借りしていますが、申込が多くて抽選に漏れることもあり、その時は葵小学校「ふれあいサロン」をお借りしています。

毎月の例会は会員のほぼ半数前後の方が出席され、遠いところからも来て下さるので感謝しております。

今の時期は、熱中症やまだまだ安心できないコロナ感染症もあり、長くならないようにしていますが、様子が落ち着けばいろいろ雑談等もまじえてコミュニケーションをとれるような状況になってほしいと願っております。

左京区：鈴木 和榮

ふれあいの小窓

< 高齢運転者の思い >

今から63年前のこと、昭和34年7月に私は自動車教習所で運転免許の取得に初めてチャレンジし胸の鼓動が高まる中、学科、実技ともなんとか一発で合格した。その時の嬉しさは今でも鮮明に覚えている。

当時、私は勤めていた会社を辞め、職探しの毎日を送っていた。そこでせめて車の免許があれば働き口が見つかるのではと、なけなしの退職金をはたいて教習所通いをし取得した免許で、探し求めた宝物を得たようでその嬉しさは人一倍であった。

あれから63年の年月を経たが、この間、公務員、その後会社員として勤めた。だがなぜか苦勞して取得したわりには車の運転を主とする仕事に就くことはなかった。結局は頑張っ取得した免許はマイカーの運転で63年間お世話になった。

ちなみに、小さな事故は何度か経験したが、人身事故に至る大きな事故を起こしたこともなく、この20年ほどゴールド免許に輝き現在に至っている。これも免許取得時の「一生事故無く」の初心を忘れずに実践したのが幸いしたのかなと思う。

各地では相変わらずアクセルとブレーキの踏み違い、信号の見落とし、高速道路の逆走など高齢者の認知症に絡む事故があとを絶たない。高齢化に伴い、運転寿命が延び、認知機能に問題はなくても、運動機能の低下による事故も多発している。

歳の割には自分ではまだまだ運転には自信があると自負しているが、このところ少し気になるのは同乗する家族から前後左右の安全確認不足や、運転動作が散漫などと指摘されたりすることである。

何か自尊心を傷つけられたようで気分はよくないが冷静に考えると、認知症や運動機能低下などと同じ症状ではないかと、家族は私の自尊心より本当に事故を心配しているということを真摯に受け止めねばならない。特に、最近、家族からぼちぼち運転を「控えるか」、「やめるか」と言われることが多くなった。だから今一番考

えているのはこの際、「免許を返納する」か、更新しても「乗らない」かの選択である。

ここに来て未練たらしいが免許を返納するとしてもなにかこの先緊急事態があったときのことを考えたり、63年間自分の分身のように身の回りに置いていた免許に対してハイお役御免と簡単に返納出来そうにないのが本音。

ただ冷静に考えれば返納しても特に差し当たり支障はない。そうなれば家族の運転する車の後ろの席でデーンとふんぞりかえって景色でも眺めていればいい、テレビ番組じゃないが幸い我が家はポツンと一軒家のような山奥じゃなし、車がないときはタクシーもバスもある、頼りになる足もある。自前の足で歩くのは健康にもよい。家族にもこの歳で事故でも起こして迷惑はかけられない。

このように考えると来年の更新時は「免許返納」だなと思う。免許有効期限まで残り1年、63年間の長い付き合いに汚点がつかないよう運転は自粛しようと思う。

西京区：匿名希望

事務局だより

－新型コロナウイルス感染症への対応について（注意喚起）－

会員の皆様におかれましては、日常生活において3密（密閉・密集・密接）の回避、熱中症に注意しながらのマスクの着用、こまめな手洗いの徹底など、基本的な感染防止対策に引き続き努めていただき、健康にお過ごしいただきますようお願いいたします。また、熱中症予防の観点から、屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。屋内でも、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

なお、会員の皆様ご自身の感染・濃厚接触が判明した場合には、発注者等への事後の対応が必要になるため、ただちに当センターにご連絡いただきますようお願いいたします。

緊急時の連絡先（携帯電話番号）について

事務局の業務時間外（夜間・休日）に、緊急の用件で連絡が必要になったときは、次の携帯電話に連絡してください。

	連絡先・携帯電話番号		連絡先・携帯電話番号
本 部	090-6676-6853	北 部 支 部	090-3978-6848
東部支部	090-6678-5342	全支部共通	080-4014-8376

緊急の用件とは：

- ・就業中の大怪我、就業先と自宅との往復の途中での交通事故
- ・就業先に損害を与えたり、市民の方に怪我をさせた場合 など急を要するとき

委員会報告

◆◆安全・適正就業委員会◆◆

7月には、全国のシルバー人材センターの「安全・適正就業強化月間」で、当センターでは、毎年、この「安全・適正就業強化月間」に、安全・適正就業委員及び地区安全対策員合同会議を開催してきましたが、今年度も、コロナ感染拡大状況により、安全・適正就業委員会及び地区安全対策員会議の開催を見送りました。

なお、令和4年度の事故発生状況は次表のとおりです。

安全・適正就業委員会では就業現場の安全パトロールを実施し、就業環境を原因とする事故の防止に努めますが、就業中の事故防止には就業環境の整備と就業する人の安全意識の向上が不可欠です。会員の皆様のご協力をお願いします。

事故発生状況

年 度	人 身 事 故		物損事故
	就業中	就業途上	就業中
令和4年度	4	2	8
令和3年度	2	2	7

※ 各年度7月31日報告分まで

令和2年度から令和4年度までの全国統一スローガン

「いつまでも、働く喜び、無事故から」

会員の皆さん、安全就業に努めましょう。

◆◆就業開拓委員会◆◆

8月4日（木）、令和4年度第3回就業開拓委員会が開催され、企業、団体への就業開拓活動について就業開拓員から活動報告などを行いました。以前とは違い、直接訪問し対面で活動ができており手応えを感じている一方、介護や保育の業種の訪問はコロナの影響で低調だとの報告がありました。また、今後、区民ふれあいまつりが実施される場合は、感染状況を判断しながら、積極的にブースでの出展を行うことが確認されました。

当委員会では、引き続き、より一層の就業開拓活動の推進のため活動してまいります。会員の皆さんも、近隣・知人の方に当センターの利用を勧めていただくなど、就業開拓活動に積極的にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

安全・適正就業に関する標語の募集結果

シルバーだより5月号で会員の皆様から、安全・適正就業に係る意識の高揚を図る取組の一環として標語を募集し、応募作品が6点ありました。応募していただきました皆様ありがとうございました。この6点を含め、京都府内一円から提出された作品について京都府シルバー人材センター連合会において審査した結果、残念ながら、今年については当センターからは選ばれませんでした。

就業開拓員（女性）募集

— 10月から半年間、週2日活動 —

現在従事している6人の就業開拓員のうち、中川会員（女性）の任期が9月末で満了となるため、その後任の就業開拓員（女性）1名を募集します。

期間は10月から半年間（半年間更新の可能性があります。）、週2回、午前9時から午後5時まで、事業所等への直接訪問により当センターの就業開拓活動を行っていただきます。

応募締切は、9月16日（金）です。

応募又はお問い合わせは、本部篠崎又は新谷（TEL821-2013）までお願いいたします。

人権の尊重について

これまで職場や地域など、社会の様々な場面で人権啓発の取組が行われてきましたが、残念なことに、今なお偏見や差別に基づく発言等がなされることも見受けられます。こうした行為は他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されるものではありません。会員の皆様におかれましても、こうしたことのないようお願いいたします。

自転車安全講習会開催

安全・適正就業委員会では、10月18日（火）午前10時から、二条自動車教習所（二条駅北西徒歩約5分）にて、京都府警中京署のご協力により、自転車安全講習会を開催する予定です。

参加ご希望の方は、当日、二条自動車教習所にお越しください。（事前の予約不要）

編集後記

9月号が皆様のお手元に届く頃には少し過ぎやすくなっているでしょうか。近年はコロナ禍に始まり、自然環境の変化が激しくなっているように見受けられます。今年は梅雨が7月早々に開けるという事態に夏の虫たちも付いていけないのか、10日近く経っても鳴きません。例年ではすぐにセミ、キリギリス達の大合唱が始まります。

表紙の写真は、秋の七草のひとつとして知られ、京都府では「絶滅寸前種」に指定されている「藤袴（フジバカマ）」。

万葉集の歌、源氏物語に藤袴の巻があるなど万葉の昔から親しまれてきた花です。

私達高齢者は気候の大きな変化に合わせ、体力、気力に注意を払うことが多くなり、健康な日々を送るために、自分も軽い体力作り、友人たちとの楽しい会話、病気は早期発見と特別に注意が必要と強く感じています。どうか、皆様、健康で健やかな秋を迎え、フジバカマをゆつくりと鑑賞しましょう。

令和4年9月1日

発行

公益社団法人京都市シルバー人材センター
〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町2番地

TEL：821-2013 FAX：821-2020